

学生と現場をつなぐコミュニティ。今年度はそのようなコンセプトで実施をしました。これから現場に出る学生と現職の教師、12名がオンラインでつながりました。

「私」は何を現職教員に聞きたいと思うのか、その問いが自らのどのような思いから生まれてくるのかということと言語化する学生、学生の問いに対して自らの実践を振り返り言語化していく現職教員。

「私」は今何を思い保育と向き合っているのかを語る現職教員。それを聞き、何を思い考えるのかを言語化する学生。

そこには「教える-教えられる」関係ではなく、「共に保育を見つめ対等な立場で語り合う」関係がありました。

世代を超え語り合うからこそ、「私」のこれまでの保育への向き合い方と、これからの保育への向き合い方が鮮明にみえてくる場となりました。

「学び続ける専門家」としての「保育者」であり続けたい。そのような思いを確かめ合う時間でもありました。



保育・教育を語り合う - 学び合うコミュニティを広げる -

## 「うなみの会」

園を超え、世代を超え、子ども達の育ちを支える仲間と現在の状況や日頃の悩み、ちょっとした疑問などをみんなで語り合しましょう。

1. 開催日(午後4時開催)  
9月18日(土) 18:00~22:00
2. 対象者  
4園にて教育実習を受けている  
子どもに関わる仕事につき手記の学生の方
3. 参加費  
オンライン会議システム  
(Zoom) をインストールしたパソコン

参加ご希望の方を募集しています。  
お問い合わせはメールまたはお電話にて

〒100-8302 東京都千代田区千代田  
千代田大学附属幼稚園

アドレス: [kinkouta1201@msai.com](mailto:kinkouta1201@msai.com)  
TEL: 03-42-45-7261



「研究できる保育者」になりたい、でもそのためには「すぐ実践できる保育者」になることが求められる。「幼稚園の先生になりたいけどなれないかもしれない」という不安と私は戦っています。でも、私は保育の現象とその意味を問い続けていきたいと思えます。

ご参加いただいた皆様からの振り返り

## うなみの会 スケジュール

- 9:45~ 接続開始
- 10:00~ 会の趣旨について
- 10:20~ 2グループに分かれて対話
  - ・自己紹介
  - ・日頃の疑問や悩みなどを出し合います
- 12:00 グループで解散

多様な子ども達の目の前の対応に必死で、余裕なく日々を過ごしている毎日。ここで話をしていると、実習の頃を思い出しました。  
「保育を組み立てていく面白さ」をもう一度自分のものにしていきたい、子どもと共に保育者の私も変わっていきたくて思いました。

保育記録は、誰かに向けてかくものではない。自分の振り返りのために書くことを大切にしたい。幼児期という限られた時間の中で、私たち保育者が意味をもって生活を作り上げていくことが子どもの成長を支えるのだと考えました。